



秋山 美和子さん (館山市九重地区)

明治時代から続く『大清水農園』にて、結婚後、夫の両親と一緒に梨づくりに取り組んでいます。収穫期には、検品から袋詰め、安房地域の各直売所などへの出荷を担当しています。

○栽培作物について
大清水農園では、梨栽培を専門としています。

○栽培品種について
はつまる、若光(わかひかり)、幸水(こうすい)、なつひかり、あきあかり、豊水(ほうすい)、菊水(きくすい)、新高(にいたか)、にっこり、秋満月(あきみつき)、その他、全部で15種類栽培しています。

○栽培のスケジュール
7月中旬～10月中旬まで販売用の収穫
つた実も全て収穫 病気予防の為、消毒 果樹に肥料を施す 耕す 冬になって落ちた葉は、そのままにしていると病気になるので全て集めて堆肥として使用
春に花が咲いたら受粉 摘果(てきか) 袋掛
などの伸びる方向や草姿のバランスを整える作業(国
の防除暦に従って消毒 収穫
右記のスケジュールで1年間作業しています。
○栽培する上での大変さなど
冬に葉を集めて堆肥にする作業が大変です。消毒や草刈りなど機械化もしており、葉っぱを集めるにもエンジンプロワ
ーなどは使いますが、やはり人力が必要になります。
一般的に梨は違う品種の花の花粉で受粉します。昨年、中
国で発生した火傷病(かしょうびょう)の影響で、輸入花粉
が手に入らなくなったのが痛手でした。

【購入可能な直売所など】
『道の駅
グリーンファーム館山』
『JA グリーン館山店』
『晴れマート』
『海のマルシェたてやま』
『館山国分郵便局』
南房総市各道の駅
『エネオスグリーンピア九重
SS(ガソリンスタンド)』
住所：館山市稲 375-1
営業時間：7：00～21：00
電話番号：0470-24-8511
こちらのガソリンスタンドで
は、梨の発送も受付けていま
す。

栽培品種で最初に花を咲かせる新高(にいたか)は、他の花の花粉を受けられなかったのが原因なのか、本来は大きいサイズの品種ですが、木によっては小振りの物が実るなど、今年から起きた現象で今後どのような影響が出るか心配です。

○収穫量について
栽培面積が4反、年間生産量は5500kg程になります。朝・昼・夕の1日3回収穫するときもあり、朝は5時から収穫を行っています。
おすすめの食べ方
そのまま食べるのが一番。食べる時は芯の周りは厚く取った方が、梨の食感をより楽しむことができるのでおすすめです。梨は水分が豊富なのでサラダに入れてもいいです。

今後の展望について
作業量が多くなるので、日々の作業をこなすので精一杯です。年々暑さが増しているので、体調などを考慮して猛暑の中での作業が少なくなるよう、7月頃から旬を迎える早生品種の栽培に着手しています。
消費者の皆様へ一言
九重地区で梨を栽培していることを話すと驚かれることが多く、あまり知られていない気がするので、地元の方に館山で梨を生産していることを知ってもらえると、とても嬉しいです。

『大清水農園』では、九重小学校の3年生の児童を対象に、地域の産業に関する学習の一環で農作業の体験を受け入れています。作業内容は収穫・摘果・剪定。
去年受け入れた児童が作ってくれた大清水農園の看板が園前に立てられています。

